

# 県政だより みえ

三重県の県政情報をお届けします

# 8

平成29年(2017)

No.397

- 広報紙  
毎月1日発行
- データ放送  
毎週木曜日更新

「県政だより みえ」は政策情報を中心に、毎月第一日曜日に新聞折り込みでお届けしています。イベントやお知らせなど暮らしに役立つ最新情報はデータ放送でご覧いただけます。

知事が行く!  
突撃取材!

裏表紙をご覧ください。



～災害の備えは日常生活から～

名張で広がる

アイデア満載の防災活動

# 未来につなぐ平和への想い

おも

## 戦争の悲惨な実態と 教訓を忘れない

戦後70年以上が経過し、県内の戦後生まれの人の割合は8割を超えました。県では、戦争の悲惨な実態とその教訓を風化させることなく、次の世代に語り継いでいくための取り組みを進めています。

### 戦争体験者インタビューを ホームページで公開

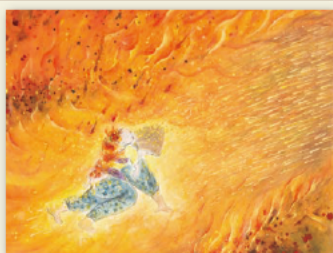
伊藤 弘子(いとう ひろこ)さんをはじめ、県内の戦争体験者20人の方の体験談を公開しています。ぜひご覧ください。

三重県戦争体験者インタビュー Q 検索



戦争体験についてお話を伺った桑名市の伊藤 弘子さんとそのご家族

## 三重県に残る 戦争の記憶



昭和20年、桑名市の焼夷弾大空襲の絵(伊藤 弘子さん作)

太平洋戦争の末期には、本土空襲が激しくなり、国内の多くの場所が焼け野原になりました。三重県においても津、四日市、桑名、伊勢などで空襲による被害があり、県内全体で6,500人以上の死傷者が出たと言われています。



# 特集 1 三重から平和を発信

昨年の伊勢志摩サミットでは、各国首脳から「平和のメッセージ」が発信されるとともに、当時の米國オバマ大統領の広島訪問の実現にもつながりました。また、今年は県議会の「非核平和県宣言」が決議されてから20周年にあたり、こつしたことを契機として、県では、三重の地から平和を発信し、平和の尊さや大切さを県民の皆さん、特に未来を担う若い世代に伝える機会づくりに取り組んでいます。

戦時下を生きてきた皆さんの言葉は、私たちに平和の尊さを教えてくれます。二度と戦争を起こさないためにも、平和の尊さや大切さについて考えてみましょう。



G7各国首脳の伊勢神宮訪問では、「世界中の人びとが平和に、理解しあって共生できるようお祈りいたします」(当時の米國オバマ大統領)などのメッセージが記帳されました。

### 祖母の願いを次の世代へ

伊藤 弘子さんのお孫さん

日本で暮らす私たちにあって、自分のすぐ近くで戦争が起きることは想像もつかないことです。それだけに祖母のように戦争を体験した人が少なくなっている今、その話に耳を傾けることは大切です。私にも娘がいますので、祖母の体験談や絵にこめられた戦争は繰り返してはいけなという想いを伝えていきたいと思います。



10歳の時に遭った焼夷弾空襲の記憶を絵で伝える伊藤 弘子さんにお話を聞きました。

### 平和へのメッセージ

#### 平和ほど尊いものはない

伊藤 弘子さん

突然の空襲で町が火の海になりました。爆撃から逃げる女性におんぶされた赤ん坊の背は、火を噴き焼けただれていました。戦争は、人々の命や生活、すべてを奪い去ります。だから、絶対に許してはいけません。

孫が10歳になった時、平和な今の時代のありがたを知ってもらおうと、自分の体験を絵に描く活動をはじめました。これからの担う若い人たちに、戦争のない幸せな世界で活躍してほしいと願っています。

# 特集 3 衆議院小選挙区の区割りが改定されました

衆議院議員の定数削減が行われ、三重県を含む6県で定数がそれぞれ1減少しました。また、あわせて衆議院小選挙区の「1票の格差」を2倍未満に抑えるための選挙区の改定が行われ、全国計97選挙区の区割りが見直されました。



三重県においては、選挙区の数が増え4となり、各選挙区の構成市町が変更されました。

また、四日市市内の2区と3区の区割りも変更となりました。

問い合わせ先  
県選挙管理委員会事務局  
☎059・224・2172  
FAX059・224・2371  
三重県選挙管理委員会 検索

### 新しい小選挙区の区割り

1区	津市、松阪市
2区	四日市市(白永、四郷、内部、塩浜、小山田、河原田、水沢、楠の各地区市民センター管内)、鈴鹿市、名張市、亀山市、伊賀市
3区	四日市市(2区に属しない区域)、桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菟野町、朝日町、川越町
4区	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町

# 特集 2 今、三重の農業が熱い!

## 三重で輝く若き就農者の声

温暖な気候、多様な地形など、自然環境に恵まれた三重県では、コムギ・麦・大豆など水田農業を中心に、松阪牛・伊賀牛、伊勢茶、野菜や果実など多彩な農畜産物が生産されています。昨年の伊勢志摩サミットでは、これらの県産食材の魅力が国内外に多数発信され、高く評価されました。

県では、このチャンスを生かし、新たな農業ビジネスの展開や県内で就農を考える皆さんにさまざまな取り組みにチャレンジできるように取り組んでいます。

### 三重に移住し 就農の夢を実現

鯨岡 恵さん(名張市)

震災を期に福島県から三重県に移住。興味のある有機栽培で野菜を生産する農家に出会い名張市で農業を始めました。

おかげで支えの見えるお父さんを見て、今後はお父さんと同じような栽培技術で野菜を生産する農家に出会い名張市で農業を始めました。

### 就農に必要な 二重県農業大学校

#### 就農支援の取り組み

農業大学校は、講義や演習、実習などを通して農業経営に必要なノウハウが学べる県立の専修学校です。二年課程(4年制大学への3年次編入が可能)と、就農を希望する社会人を対象とする一年課程があり、水田作、茶業、野菜、花き、果樹、畜産の6つのコースを設置しています。

「新農業コースの設置」  
三重大学と連携して、農業ビジネスを展開する雇用力があふれる農業法人等の経営者を育成する新農業コースの開講準備を進めています。

「新農業コース」みえ農業版MBA養成塾(平成30年度開講予定)

●講座の例  
・実践的なマネジメント手法等を学ぶ「経営学講座」  
・食品産業者と連携した「フードマネジメント講座」  
・雇用型インターンシップ など

### 就農体験の実施

先進農家で実践的な農業の体験をしてみませんか。40歳以下の方を対象に、2~7日の短期研修や2~10カ月の長期研修を実施しています。

「相談窓口」  
(公財)三重県農林水産支援センター  
担い手育成支援課  
☎059・848・1226

### みえの就農サポート

#### リーダー制度

栽培技術や農地・住居の取得、地域における信頼関係づくりなど、新規就農者をサポートしていただく農業者等を、県が就農サポートリーダーとして登録しています。

#### 農業次世代人材投資資金制度

就農サポートリーダーなどの先進農家や農業大学校等で研修する就農希望者を対象として、農業次世代人材投資資金(準備型)が交付される国の制度です。

#### ライフスタイルに合わせて、自分らしい農業にチャレンジしてみませんか。

詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先/農林水産部 担い手支援課  
☎059・224・2354 FAX059・224・2300  
☎059・224・2300 FAX059・224・2300  
sensomu@pref.mie.jp





第17回 ~災害の備えは日常生活から~

# 名張で広がるアイデア満載の防災活動

## 100円から始める災害への備え

今回は、県の「みえの防災奨励賞」(平成28年12月)をはじめ数々の賞を受け、アイデアいっぱいの防災活動に取り組む名張市の中央ゆめづくり協議会防災防犯部会 部長の久保田 定勝さんを訪ねました。「地域の皆さんに防災ということを前面に出すと、「面倒くさい」、「時間が取れない」と敬遠されてしまいます。そこで気軽に実践できる「100円防災」や「缶乾レシビ」などの啓発を行っています」と久保田さん。防災はお金もかかるイメージがありますが、何と「100円防災」は100円均一ショップでそろえる品を活用するそうです。「防災用品や備蓄品は、一度にそろえるのは大変ですが、普段から行く百貨などで毎日、少しずつ備えることで面倒ではなくなる」と言います。



な発見があります。また、みんなで食べ物のことを考えることは食育にもつながりますね。



さらに備蓄品の缶詰や乾物で簡単にできる「缶乾レシビ」で作った「冷汁」と「切り干し大根サラダ」を試食。どちらもすごく簡単に作れておいしい!これなら皆さんも普段から実践できますね。こうしたアイデアは、女性部会委員の皆さんが積極的に出してくれるそうです。

最後に今後の活動について聞くと「避難時の要援護者やペットの対応を検討したい」とのこと。地域の実情に応じた防災・減災の課題を皆さんが知恵を出し合って克服していく姿を見て、とても頼もしく感じました。県では、災害への備えが日常生活と一体となった「防災の日常化」を進めています。身近な取り組みから防災意識を高めることはまさに「防災の日常化」のお手本だと感じた取材でした。



取材/知事 鈴木英敬



地域の防災意識を高めたい!



自分たちの街は自分たちで守るため、部会員の皆さんと日常生活の中で防災への取り組みができるアイデアを考えている久保田さん。



在宅避難用に考えられた「缶乾レシビ」。仕事や育児に時間がとられ、ゆっくりと料理ができない方にもおすすめです。



「100円防災」でそろえた品をA4サイズのクリアケースに入れておけば、災害時にすぐ持ち出すことができます。グッドアイデアですね。

- 「知事が行く! 突撃取材!」のインタビュー詳細版はホームページで。[県政だより みえ](#) [Q検索](#)
- 取材の様子は三重テレビ「県政チャンネル ~輝け! 三重人~」で8月11日(金・祝) 22時15分から放送します。
- 三重県インターネット放送局「知事突撃取材」でYouTubeでも配信。

問い合わせ先 ..... 戦略企画部 広聴広報課 ☎059・224・2788 ☎059・224・2032 ✉koho@pref.mie.jp

**いつでも便利! 操作は簡単!**

三重テレビ7チャンネル「d」ボタン

毎週木曜日更新

三重県データ放送

**暮らしの便利帳**

イベントなどの最新情報は**データ放送**で!!

**注目!** なるほど! 発見! 斎宮!

斎宮で自由研究 平安ファッション編

十二単っていうけど、平安時代のお姫さまは、本当に12枚も着物を着たの? などなど。今年の夏休みの自由研究は斎宮で!!

◆期間: 8月31日(木)まで 9時30分~17時 (入館は16時30分まで)

◆場所: 斎宮歴史博物館 (明和町竹川1503番地)

~自由研究相談会~ 斎宮や平安時代のことならお任せ!

日時: 8月18日(金)・19日(土) 10時~15時

斎宮歴史博物館 ☎0596・52・3800 [斎宮歴史博物館 Q検索](#)

事前申込不要 無料 ※常設展示は有料です

**【県のテレビ番組】** ◆「県政チャンネル ~輝け! 三重人(みえびと)~」 金曜日22時15分~ (第5週は放送なし)

三重テレビ(7ch) 県の取り組みや活躍する三重人を映像で紹介。 [手話・字幕付き](#) [三重県インターネット放送局 Q検索](#)

**【県のラジオ番組】** ◆三重県からのお知らせ 月~金 7時43分~ 金 18時25分~

FM三重 ◆こんにちは三重県です 火 18時22分~

県ホームページでも「県政だより みえ」「声の三重県だより」を配信しています。 [県政だより みえ Q検索](#)

編集・発行/三重県広聴広報課 「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。

〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課

☎059-224-2788 ☎059-224-2032 ✉koho@pref.mie.jp 県庁電話案内(各課ご案内) ☎059-224-3070

三重県の人口・世帯数 人口/1,800,043人(男性:876,552人 女性:923,491人) 世帯数/729,608世帯 平成29年6月1日現在

**リサイクル適性(A)** この印刷物は、印刷用の紙をリサイクルできます。

**VEGETABLE OIL INK** この広告紙は、再生紙と、環境にやさしい植物油インクを使用しています。

三重県は環境保全活動を推進するシンボルとして、エコマークを使用しています。

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属するものです。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ホープ(☎092-716-1404)までお問い合わせください。

家族葬から社葬まで、事前の相談も至急の依頼も

**年中無休・24時間対応**

株式会社 **ふじや本店**

**光倫会館**

経済産業大臣認可 全日本葬祭業協同組合連合会所属 KKR 国家公務員共済組合連合会特約店

☎0120-114248

~掛け金不要! 会員制度「心の会」は入会金5千円のみ 会員様募集中~

葬儀祭壇基本価格 <b>10%割引</b>	光倫会館使用料 <b>全額無料</b>	光倫会館安置室使用料 <b>1日分無料</b>	専用霊台車基本料金 <b>1台分当社負担</b>
-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------------------

■本社/四日市光倫会館 〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015 ☎059-351-1151

■富田光倫会館 〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7 ☎059-361-2481

■光倫会館 桜ホール 〒512-1211 四日市市桜町6613 ☎059-325-2482

■津光倫会館 〒514-0054 津市朝前町47-3 ☎059-228-1151

国文祭 障文祭 なら2017

やまとしうるはし、おもしろ

第32回国民文化祭・なら2017 第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会 **全国初の一体開催!**

**9月1日(金)~11月30日(木) 3か月にわたり開催!**

歴史と文化の豊かな蓄積を誇る日本文化のはじまりの地「奈良」 この機会にぜひ、奈良県へお越しください。

トラベルセンターも設置しています。

詳しくは [国文祭 障文祭 なら](#) [検索](#)

☎奈良県国民文化祭・障害者芸術文化祭課 ☎0742-27-8478 ☎0742-27-8466

奈良県